2026（令和 8）年さけます来遊状況（第 3 報：10/31 現在）

4　サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所　さけますセンター　資源増殖部

- **北海道の年齢別来遊数では、3 年魚（2023 年級）、4 年魚（2022 年級）、5 年魚(2021 年級)が前年および平年*1 を下回り、3 年魚、4 年魚および 5 年魚は 1994（平成 6）年以降で最も少ない**
- **北海道太平洋側では 3 年魚が平年の 8%、4 年魚が平年の 7%で、1994（平成 6）年以降で最も少ない**
- **北海道日本海側では 3 年魚が平年の 4%、4 年魚が平年の 14%、5 年魚が平年の 12%で、1994（平成 6）年以降で最も少ない**
- **サケの平均重量は北海道で 2.78kg と、1994（平成 6）年以降で最も小さい**

*1：平年とは、1994（平成 6）－2025（令和 7）年の同期の平均値

・サケの年齢組成(北海道)

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、10 月 31 日現在における年齢別来遊数を推定したところ、年齢組成では、4 年魚（2022 年級）が全体の 59%を占めて最も多く、次いで 5 年魚（2021 年級）が 37%、3 年魚（2023 年級）が 3%となっています。前年同期との比較では、3 年魚は 28%、4 年魚は 52%、5 年魚は 62%と前年を下回っています（図 1）。平年同期との比較では、3 年魚は 6%、4 年魚は 11%、5 年魚は 9%となっており、3 年魚、4 年魚および 5 年魚は 1994（平成 6）年以降で最も少ない値となっています。

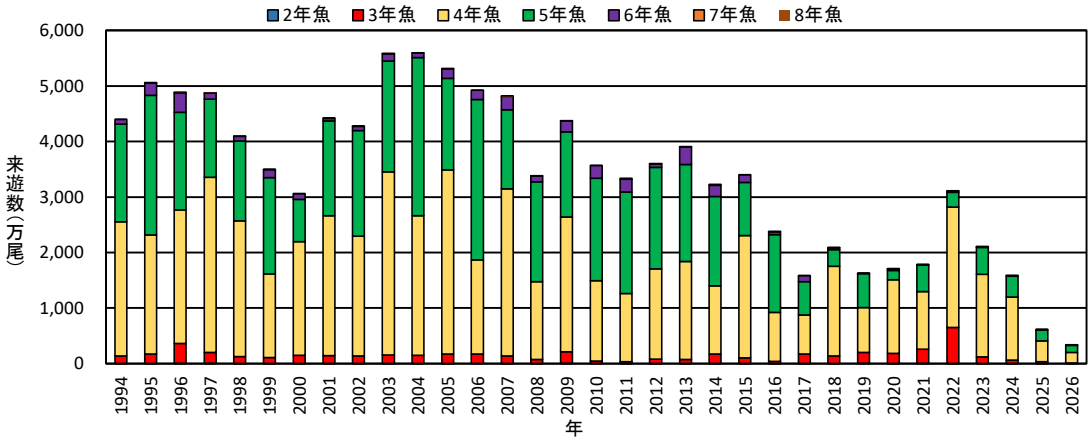

図 1. 10 月 31 日現在のサケ年齢別来遊数（北海道）.

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2022 年級を 4 年魚までの来遊数（2～4 年魚の来遊数）で比べた場合、1992～2021 年級の平均の 12%の水準となっています。また、今年の 5 年魚である 2021 年級の 5 年魚までの来遊数（2～5 年魚の来遊数）は、1992～2020 年級の平均の 17%の水準となっています（図 2）。

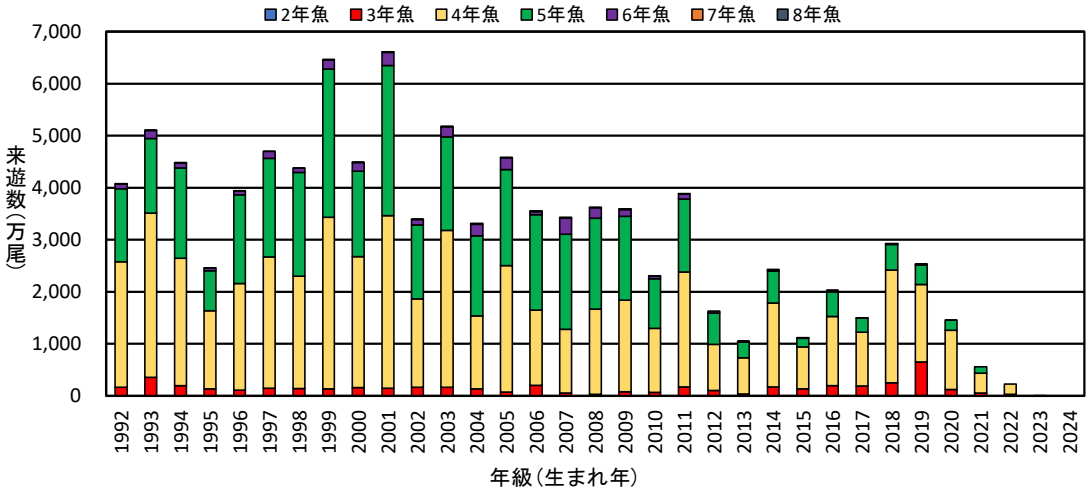

図 2. 10 月 31 日現在のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）.

地域別にみると、北海道太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では、4 年魚（2022 年級）が全体の 60%を占めて最も多く、次いで 5 年魚（2021 年級）が 34%、3 年魚（2023 年級）が 5%となっています。前年同期および平年同期の来遊数と比較すると、3 年魚では前年の 44%、平年の 8%、4 年魚では前年の 55%、平年の 7%、5 年魚では前年の 124%、平年の 5%となっています。3 年魚および 4 年魚は 1994（平成 6）年以降で最も少ない値、5 年魚は 1994（平成 6）年以降で 2 番目に少ない値となっています（図 3）。

北海道日本海側（オホーツク海区および日本海区）では、4 年魚（2022 年級）が全体の 58%を占めて最も多く、次いで 5 年魚（2021 年級）が 38%、3 年魚（2023 年級）は 2%となっています。前年同期および平年同期の来遊数と比較すると、3 年魚では前年の 19%、平年の 4%、4 年魚では前年の 51%、平年の 14%、5 年魚では前年の 51%、平年の 12%となっています。3 年魚、4 年魚および 5 年魚は 1994（平成 6）年以降で最も少ない値となっています（図 4）。

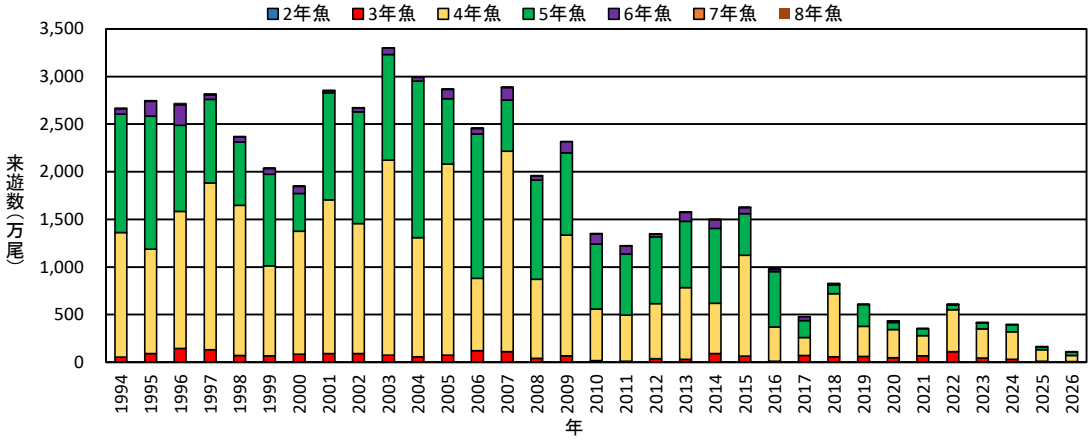

図 3. 10 月 31 日現在のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

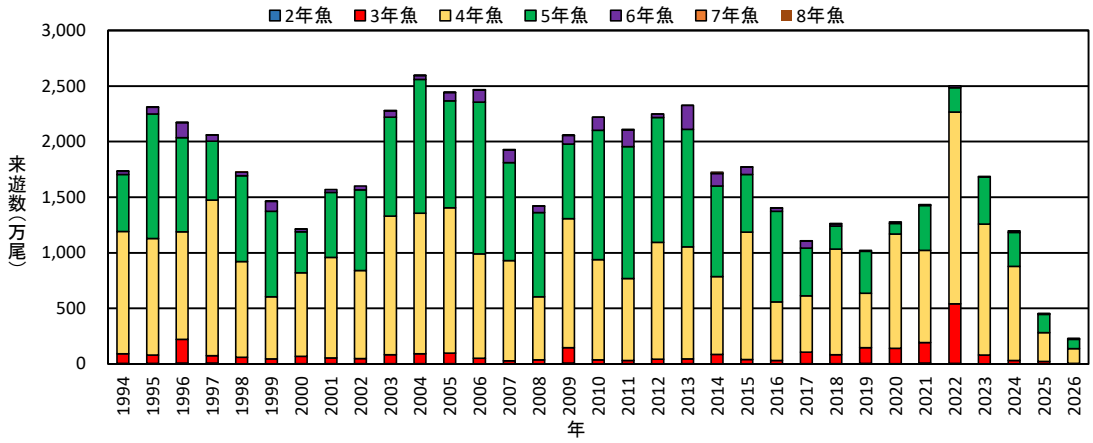

図 4. 10 月 31 日現在のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における 10 月 31 日現在のサケ 1 尾当たりの平均重量（漁獲数と漁獲重量から算出）は 2.78kg であり、前年同期の平均重量 2.93kg を下回り、1994（平成 6）年以降で最も小さい値となっています（図 5）。

また、北海道の主要河川に 10 月 31 日までに回帰したサケ 4 年魚の平均尾叉長は 63.9 ㎝であり、前年同期の 64.3 ㎝を下回り、1994（平成 6）年以降で 2 番目に小さい値となっています（図 6）。

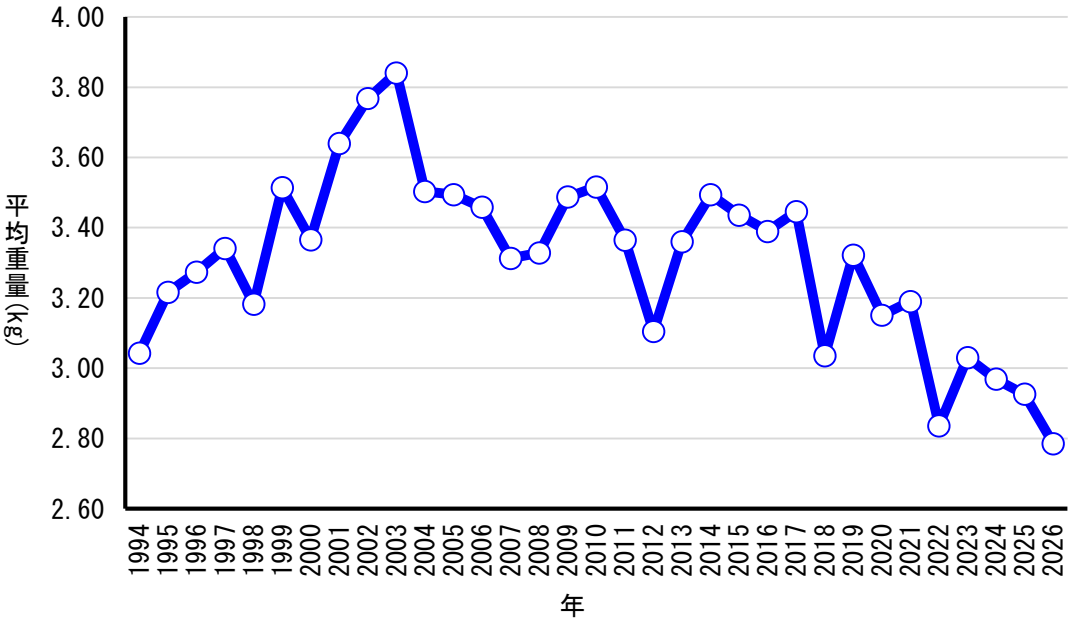

図 5. 10 月 31 日現在のサケ平均重量（北海道）.

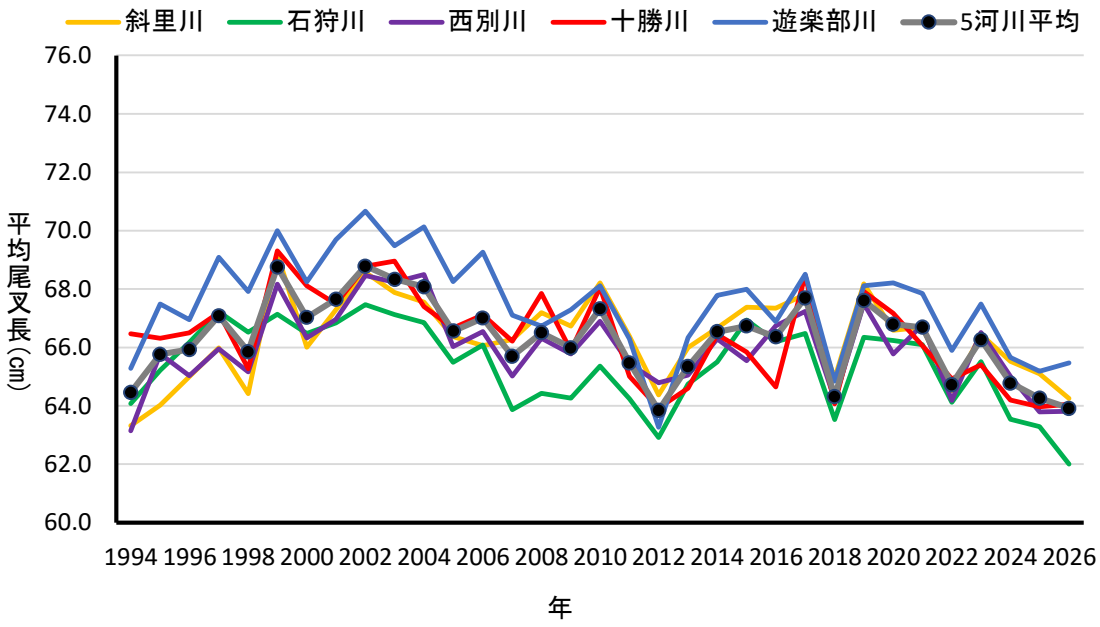

図 6. 10 月 31 日現在の北海道主要河川におけるサケ 4 年魚の平均尾叉長.